

よど 余土地区

面積：5.12km²
人口：23,767人（高齢化率 24.2%）
世帯数：10,414世帯

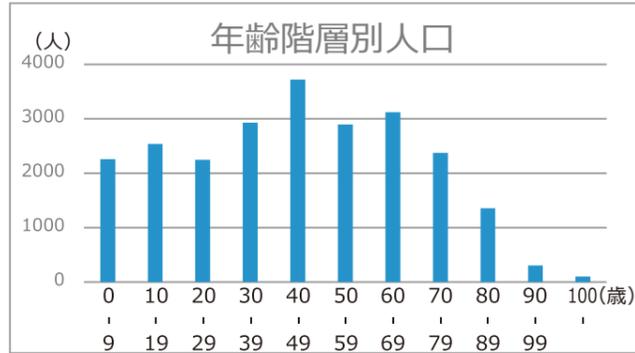


【地区の特色】

余土地区は、余戸・保免・市坪の3つの町からなり、石手川と重信川が合流する地域に位置している。昔から農業の大変盛んな農村地であったが、近年は国道56号線を中心に住宅や店舗が建ち、他の地域からの転居者も増え、人口は松山市の上位にランクされるようになった。また、松山中央公園には「坊っちゃんスタジアム」や「県武道館」など大型公共施設が集中しており、今後の町の活性化がますます期待されている。



松山中央公園と眼下に流れる石手川



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> ・災害が小さい（地理的） ・交通の利便性が高い（電車、バス、空港、高速道路近く） ・地区社協拠点がある ・高齢者、障がい者の施設が充実 ・移動スーパーが来る ・まちづくり協議会が充実（人づくり） ・街灯が多く夜明るい ・公民館のスポーツ大会の充実（ソフトボール、グラウンドゴルフ、ペタンクなど） ・中央公園ができてスポーツ関係が充実し、町が明るくなってきた ・中央公園地域の散歩、ジョギングの利用増大 ・地区の見守りがあり、繋がりが強い ・地域活動に中心になる人が多い ・新しい宅地に若い人が多い ・ゴミ出しのルールがよい（地区で話し合いができています） ・犬の散歩のルールがよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション、コーポの増加で人間関係が希薄になっている ・道路建設により地域が分断されている（余戸南） ・空き家が多い ・役員の担い手が少ない ・各団体は利用者が限定される ・転勤族が多い ・水害時の心配（避難場所が少ないうえに遠い、道が狭い） ・市営団地やマンション等の個人情報分からない ・屋外で運動する場所が少ない ・歩道が整備されていないので車いすが押しにくい（高齢者が不便） ・買い物に不便な地域がある ・区内の愛護班の繋がりが薄くなった ・人口は増えているが新しい住民との交流が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・団地、分譲住宅が高齢化により活動が難しい ・子ども会活動の停滞 ・住宅化が進み近所付き合いが希薄になっている ・高齢者世帯が増加し空き家も増加 ・近所のコミュニケーションがとりにくい ・歩道の整備 ・郵便ポストが少ない ・分譲住宅は同年代が多く一気に高齢化する恐れがある ・災害時の高齢者の避難（防災士との連携）

余土地区社会福祉協議会

助け合い 笑顔が輪になる 余土のまち

<拠点> 松山市余戸東 4-4-34（余土公民館内）

構成団体	地区民協・議員・公民館・中学校・小学校・消防分団・交通安全協会 交番・農協・町内会長・高齢クラブ・保育園・母子福祉会・地域包括支援センター
主な取り組み	活動内容
災害マップの作成	平成 23 年度から独居・寝たきり・障がい者の支援を目的に地区民協と連携して作成し各町単位で更新しながら活用しています。
福祉学習の推進	公民館と共催し、地域にある公民館・分館にてテーマ性に富んだ福祉学習事業を行っています。
福祉用具の貸し出し	短期の旅行や病院受診などの際に介助が必要な方を対象に、車いすの貸し出しを行っています。

拠点を活かした取り組み

余土公民館、まちづくり協議会、地区社協が入る拠点の機能を活かして、様々な連携・協働事業を行っています。

平成 30 年度には松山市が定めた「まつやま子どもの日」にちなみ、マジックショーや子ども服の交換会など親子が楽しめる参加型イベントを開催しました。



<地区社協が目指すもの>

余土地区社協では平成 29 年にかねてから念願であった活動拠点を余土公民館の中に設けることができました。また隣接には子育て関連の施設も入り分野を超えた連携が期待されています。

今後、地域内の問題がますます複雑になっていくこととは思いますが、関係する様々な団体が互いに連携し、それぞれの特徴を活かした地域福祉活動を展開することが重要であると考えます。拠点を活かした取り組みを重ねながら、少しでも地域の活性化に貢献したいと考えております。

地区の状況	地区民協 民生委員 主任児童委員	34名 2名	町内会・自治会・区長会等	46団体
	まち協の設立	平成 21 年度	高齢クラブ	10 クラブ
		子ども会	14 団体	
		自主防災組織	8 組織	

余土地区の活動の魅力は、「多団体との連携・協働」です。公民館内に地区社協の活動拠点を設けることができたことにより、地域の関係団体との連携がさらに強化され、活動の幅が広がっています。特に子育てサロンについては、子ども服の交換会など新たな取り組みや高齢者施設などとの交流を取り入れ、世代や分野を超えた交流の中で子育ての支援を行っています。「連携・協働」により、情報発信力も高まっています。また、地理的に災害が少ないながらも、災害マップの作成を含め入念に防災対策を「助け合い」ができるように備えています。福祉的ニーズを持つ住民はもちろん、広く住民が恩恵を受けられる試みがされている地区だといえるでしょう。

ココがポイント



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

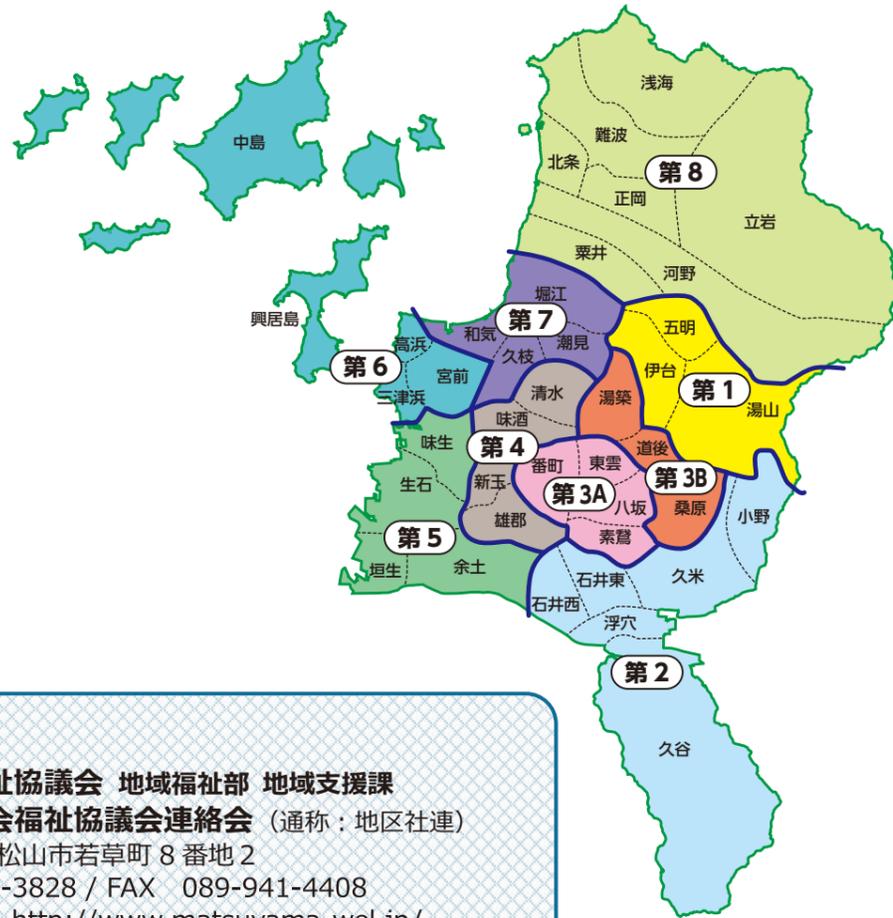
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地区
	生石地区
	味生地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称:地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏